



▲動物愛護週間コーナーにぜひお越しください

動物愛護週間コーナーの紹介

9月20日(土)～26日(金)は動物愛護週間です。動物の愛護や適正な飼養について広く理解・関心を深めてもらうために定められています。身近なペットも絶滅が危惧されている動物も、当然ながら大切な命です。今月は動物について知ることので

きる図鑑、ペットの飼い方、生き物の多様性をテーマにした本などを紹介しています。この機会にご家族で動物愛護や、災害時のペットのための備えなど、改めて話し合ってみてはいかがでしょうか。

0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

日時

9月11日(木) 午前10時30分～

会場

おはなしのへや (町生涯学習センター 図書室内)



町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



新着図書紹介

小説



今日も私は、ひとつの菓子を 高田 充 著/淡交社

京都島原の和菓子店で菓子職人としての道を歩み始めた雄司。腕は一流だが昔気質で頑固な大将との衝突、後継者争い、地域の人々や店の仲間たちとの交流を通して、大きく成長していき…。第4回京都文学賞受賞作品です。



乱歩と千畝 RAMPO と SEMPO 青柳 碧人 著/新潮社

巨匠・江戸川乱歩と、ユダヤ人を救った外交官・杉原千畝。まだ何者でもなかった若きふたりは友となり、希望と不安を抱えつつ浅草のみだらな路地を歩き、語り合い、それぞれの道へ…。斬新な発想で描く波乱万丈の物語です。



踊りつかれて 塩田 武士 著/文藝春秋

言葉が異次元の暴力になるこの時代。不倫を報じられて苛烈な誹謗中傷を受け、自ら死を選んだお笑い芸人。一方、伝説の歌姫は写真週刊誌のデタラメに踊らされ、人前から姿を消した。彼らが目にした絶望とは…。引き込まれる一冊です。

一般書



今と未来がわかる農業 堀田 和彦 監修/ナツメ社

日本の農業の現状と課題を示すとともに、新たな農業経営と就農の潮流、持続可能な成長をもたらす農業の可能性などについて、図表やイラストを用いて分かりやすく解説。就農へのステップ、関連情報・注意事項も掲載しています。



まだ何になるかわからない キボリノコンノ 著/実務教育出版

公務員として働くも、うつ病になり、先が見えない、将来の夢なんてない。でも何もないと思っていた自分の中に、意外な可能性が眠っていた。木彫りアーティスト・キボリノコンノが誕生するまでを赤裸々につづったおすすめの一冊です。



日本の映画の舞台&ロケ地100選 谷國 大輔 著/学芸出版社

『るろうに剣心』熊本県「法の館(旧三角簡易裁判所)」、『すずめの戸締まり』宮崎県「油津」、『ナミヤ雑貨店の奇蹟』、大分県「豊後高田昭和の町」など、日本映画100作品を厳選し、映画の舞台&ロケ地を写真とともに紹介しています。

町社会教育課では、『甲佐町合併70周年記念 甲佐町の文化財〔第三集〕』の一般抽選販売をします。

本冊子は、これまで町内教育施設や公民館、配布希望事業所などに配布してきましたが、多くの町民の皆さまから個人販売のご要望を多くいただきましたので、90冊限定で一般抽選販売します。

購入を希望する方は、下記のとおり事前に申し込みいただき、抽選の結果、当選した方のみ販売を行います。

■一般抽選販売について

●販売金額

1冊1,800円（税込み）

●販売冊数

90冊

●抽選販売申し込み期間

9月15日（金）～10月15日（水）

●申し込み方法

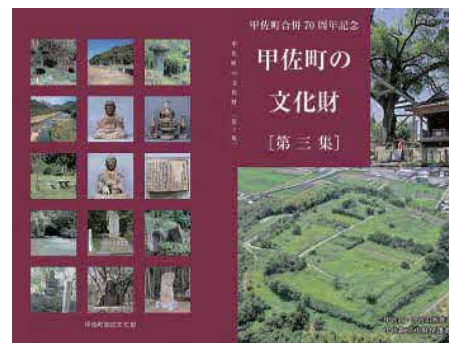
町社会教育課に電話でお申し込みください。

▶町社会教育課 ☎096-234-2447

●当選発表

町社会教育課で抽選を行い、当選者には10月20日（月）以降に通知を送付します。

当選者は、当選のお知らせを受け次第、町社会教育課窓口で購入手続きをお願いします。



『甲佐町の文化財〔第三集〕』

お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096-234-2447（内線327）

人権く心豊かに暮らすためにく

本町の教職員らが人権問題について考える

令和7年度甲佐町学校人権教育部会を開催

7月29日（火）町民センターで、令和7年度甲佐町学校人権教育部会「新規採用者および転入教職員研修会」が開催されました。

同研修会は、町人権教育推進協議会が部落差別（同和問題）をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向け、すべての教職員の基本的認識を図り、本町における人権教育の充実と発展に努めることを目的に開催するもの。本年度、本町教育委員会に配属となった教職員など39人が参加しました。

まず、町民センターの佐藤竜也係長が「甲佐町町民センターの取り組み」について説明。次に白旗小学校の寺尾孝之先生が、「甲佐町における人権教育の現状と課題」について報告しました。その後、参加者によるグループ討議で、「私と部落問題との関わり、人権教育を進めるにあたっての悩みなど」の人権教育に関する意見交換が行われました。

研修を終えた教職員からは、「先生

方のお話から、歴史観や情報を自ら知ろうとすることが大切だと学びました。部落差別と自分の関わりをもう一度見つめなおして、人権教育を行っていきたいと思います」「差別は社会にすりこまれていくもの。だからこそ私たち教職員がまず子どもたちとの日々の関わりを大事にし、何かあったら見逃さずに指導していくことができたらと思います」といった声が聞こえ、本研修は、参加者にとって人権意識を捉えなおす良い機会になりました。

●お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096・234・2447



▲蔵田教育長の話聞く本町教職員